

大阪フィルハーモニー交響楽団

指揮

井上 道義

Program

ラヴェル
スペイン狂詩曲ロドリゴ
アンダルシア協奏曲

(4本のギターとオーケストラのための)

ムソルグスキー(ラヴェル編曲)
組曲「展覧会の絵」

都に響く！縦横無尽の大フィルサウンド

京都特別演奏会

©星ひかる

村治 奏一

©Satoshi Ono

2017年

大萩 康司

写真提供: Nakuju Hall

鈴木 大介

©Matsunao Kokubo

10月28日(土)

15:00開演(14:00開場)

京都コンサートホール 大ホール

荘村 清志

©得能通弘 CHROME

料 金

(全席指定・税込)

一般券/S席: 5,000円 A席: 4,000円 B席: 3,000円

学生券/S席: 2,500円 A席: 2,000円 B席: 1,500円

(25歳以下)

枚数
限定

発売日:

2017年6月13日(火)

お問合せ

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

【営業時間】平日 10:00~18:00/土 曜 10:00~13:00

日・祝・年末年始は休業

エラート音楽事務所 075-751-0617

※学生券は25歳以下の学生が対象です。ご購入の際は学生証のご提示をお願いいたします。学生券のお取扱いは大阪フィル・チケットセンター、エラート音楽事務所、京都コンサートホール、ロームシアター京都(窓口販売)のみでございます。

※未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

チケット取扱い

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 <http://www.osaka-phil.com/>

エラート音楽事務所 075-751-0617

京都コンサートホール 075-711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org>

ロームシアター京都 075-746-3201

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>(Pコード:323-908)ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/>(Lコード:57453)e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

主催: 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

共催: 京都市、京都コンサートホール[公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団]

協賛: ローム株式会社 協力: エラート音楽事務所、株式会社ドルチェ楽器

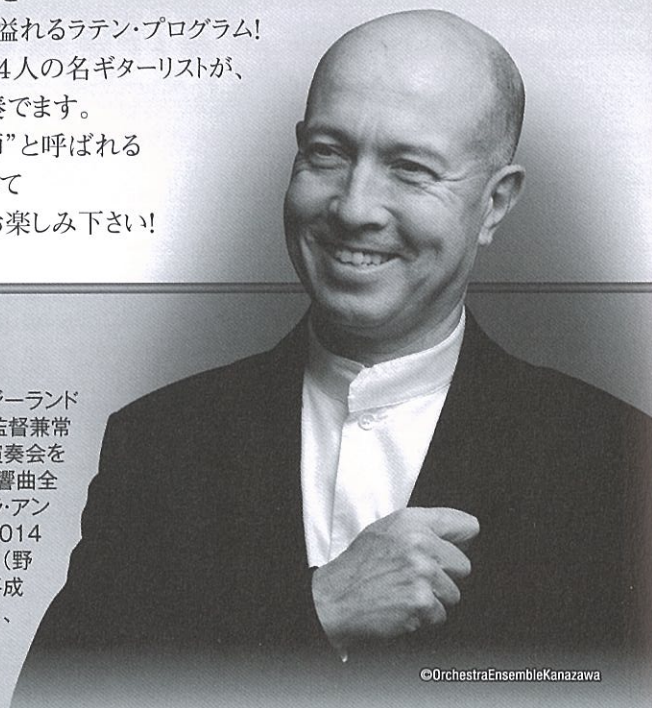
京都の秋 音楽祭



今年で20回目を迎える毎年恒例の大阪フィル「京都特別演奏会」は、昨年に続き井上道義マエストロが指揮台に登場します。曲はマエストロならではの異国情緒溢れるラテン・プログラム! エキゾチックなラヴェルの「スペイン狂詩曲」に始まり、2曲目では日本を代表する4人の名ギターリストが、スペインの香り漂うロドリゴの「アンダルシア協奏曲」を、華麗なアンサンブルで奏でます。そしてメインは、ロシアの作曲家ムソルグスキーのピアノ曲を“オーケストラの魔術師”と呼ばれるラヴェルが色彩豊かにオーケストレーションした名作「展覧会の絵」。昨年も増して情熱的な演奏が期待できるプログラムを、ダイナミックな大フィル・サウンドで是非お楽しみ下さい!

指揮 井上 道義 *Conductor: TADUKE Michiyoshi*

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。1971年グイド・カンテルリ指揮者コンクール優勝。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者を歴任。1999年、マーラーの交響曲全曲演奏会を実施し「日本におけるマーラー演奏の最高水準」と高く評価された。2007年、ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2007年よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティスト・アドバイザーを務めている。2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015年、全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)を総監督として指揮し、10都市14公演の巡回公演を大成功へと導いた。2010年「平成22年京都市文化功労者」、社団法人企業メセナ協議会「音もてなし賞(京都プライトンホテル)」、2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」を受賞。自宅にアヒルを飼っていた。オフィシャルサイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>



©Orchestra Ensemble Kanazawa

ギター 莊村 清志

Guitar: SUZUKI A. Kiyoshi

実力、人気ともに日本を代表するギター奏者。07年にはNHK教育テレビ「趣味悠々」に講師として出演。2009年ビルバオ交響楽団と共演したCD《アランフェス協奏曲》をリリース、同団とは日本ツアーも行い好評を博した。2015年10月にはイムジチ合奏団と共演、レコーディングを行った。17年から19年のデビュー50周年に向けてギターの様々な可能性を追求する「荘村清志スペシャルプロジェクト」(全4回)に取り組む。第1回は3月にさだまさしと共演、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となった。現在、東京音楽大学客員教授。



©得能通弘 CHROME



ギター 鈴木 大介

Guitar: SUZUKI Daisuke

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。マリア・カナルス国際コンクール第三位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作は高い評価を受け、「カタルニア讃歌〜鳥の歌/禁じられた遊び〜」は平成17年度芸術祭優秀賞を受賞。平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第10回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

ギター 大萩 康司

Guitar: OHSAGI Yasuji

宮崎県生まれ。高校卒業と同時に渡仏し、フランスのエコール・ノルマル音楽院、パリ・コンセルヴァトール音楽院、イタリアのキジアーナ音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクールにて第2位及び審査員特別賞を受賞。日本国内での活動に加え、欧米やアジアなど世界各地に活躍の幅を広げ、各地で熱狂的な支持を得ている。新譜は、15枚目となる「天の三羽の鳥〜ギターで聴く珠玉のフランス音楽〜(ビクターエンタテインメント)」」。第6回ホテルオークラ賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。



©ビクターエンタテインメント



©Satoshi Oono

ギター 村治 奏一

Guitar: MURAI Soichi

1997年クラシカル・ギター・コンクール、98年スペイン・ギター音楽コンクール、第41回東京国際ギター・コンクールに続けて優勝。2003年ボストンの総合芸術高校音楽科を首席で卒業し、ビクター・エンタテインメントよりリリースした『シャコンヌ』がレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。12年、ウィーン室内管弦楽団と共にアジア5カ国でのコンサートツアーを成功させた。13年S&R財団ワシントン・アワード受賞。2016年秋には自身でプロデュースしたソロアルバム『Off the Record』をテレビマンユニオンよりリリース。これまでに内外のオーケストラと多数共演。

管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団

Osaka Philharmonic Orchestra

1947年「関西交響楽団」という名称で発足。1960年に現在の名称となり、創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。その後、2003~2011年まで大植英次が音楽監督、2014~2016年まで井上道義が首席指揮者を務め、尾高忠明が2017年4月ミュージック・アドバイザーに就任。2018年より音楽監督となり、2016年に指揮者に就任した角田鋼亮と2人の指揮者体制となる。演奏活動は本拠地であるフェスティバルホールでの「定期演奏会」(年10回、毎回2公演開催)をはじめ、ザ・シンフォニーホールにて平日昼に開催している「マチネ・シンフォニー」や平日夜の「ソワレ・シンフォニー」、大阪のメインストリートである御堂筋や中之島の街角で繰り広げる音楽イベント「大阪クラシック」など多彩な活動を行っている。

【公式ホームページ】<http://www.osaka-phil.com/>



©飯島隆

大阪フィル・ホームページ <http://www.osaka-phil.com/>



アカウント: @Osaka_phil

公式ブログ

<http://osakaphil1947.blog66.fc2.com/>



PC・携帯からアクセス!

京都コンサートホールへのアクセス

● 京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 (1)番、(3)番出口 南へ徒歩 5 分

